

学習院大学

〒171-8588
東京都豊島区目白1-5-1
学長室広報センター
TEL 03-6062-1008
https://www.univ.gakushuin.ac.jp/

学習院大学の歴史は、1847年（弘化4年）に京都御所日ノ御門前に開講された公家の教育機関、学習院にまで遡ります。創立当初から一貫して守られているのが、学生の個性を育み、国際的な視野の広さを養う質の高い教育です。一流の教授陣のもと、少人数制によるきめ細やかな教育を通じ、「思考」「表現」といった、いつの時代にも求められる「人間力」の育成を追求しています。

「就職に強い大学」としても定評があり、キャリア・就職支援面でもこうした力の育成に向けた多彩なプログラムを展開。29年間続く名物「面接対策セミナー」は卒業生の強い母校愛が原動力となっています。4年間を通じ多様性の中で協働することを学び、世界へと躍進します。



多様性を求める開かれた総合大学 目白の杜の〈オール・イン・ワン〉キャンパスで 最先端の“知”に触れ、主体的に学ぶ

**全学部がワンキャンパスに集結
教授陣は各分野の第一人者**

JR山手線・目白駅から徒歩でわずか30秒のところに位置する学習院大学。その緑豊かで広大なキャンパスは、都心にありながら約18万平方メートルの広さを有し、由緒ある建造物や史跡が最先端の研究棟や教室棟と美しく調和しています。全学部、全学年がひとつのキャンパスに集い、教授陣や同級生、先輩、後輩との近い距離感も大きな特徴です。

教壇に立つのは、「その分野の第一人者」として評価され、数多くの著名論文や受賞経験を持つ教授陣です。少人数教育のもと、最先端の“知”に触れることができる教育を行っています。

南7号館「理学部研究棟」や南2号館（国際社会科学部研究棟）、中央教育研究棟などの最新施設に加え、明治9年以前の歴史を有する図書館など、施設面でも充実した学習支援を展開。多くの人と触れ合い、ともに学び合える環境の整った学習院大学は、知識だけでなく豊かな感受性と確かな行動力を育むとともに、一生涯の友人や恩師に出会うことができる理想的な学び舎といえます。

**人文、社会、自然科学を
網羅した充実の“学び”**

いつの時代にも大切な「人間力」の育成を追求する学習院大学では、約63%の授業が1クラス30名以下という少人数教育を実現。きめ細やかで質の高い学習環境が整備されています。

「法学部」では法学科と政治学科の多彩な科目を相互に広く履修することができます。法学部では国家公務員一種試験や法科大学院進学を念頭に置いた「演習」科目などを開講。一方、政治学科では、大学院との連携で、5年間で修士号を取得できる「特別選抜コース」(FT course)を設置しています。

「経済学部」では、現代社会において解決を迫られているさまざまな問題に対して経済学・経営学の立場から多面的にアプローチ。専門分野に特化した独自の英語教育や、簿記検定の合格を目標とした資格系の科目など、実社会で役立つ講義も豊富です。また、一流の研究者によって一流の教育者が揃う「文学部」では、豊かな教養と知性を磨くことを目的に、8つの学科を設置。学生の主体的な研究の場として、1年次から教員とともに工夫を凝らしたゼミを用意しています。

一方、「理学部」は学生数に対する教員の数極めて多いのが特徴です。物理、化学、生命科学科では豊富な実験による実体験重視の教育を

通して、数学科では1年次からのゼミナールを通して、柔軟な思考力と問題を秩序立てて解決する能力を育てます。

**世界を舞台に
ビジネスの第一線を目指す
「国際社会科学部」**

現代の国際社会では、国境を越え人々が交流することで、新しい価値が生まれています。今の日本に求められるのは、海外で現地の人たちと共に働く人材、あるいは日本において世界中から集まった人々と協働できる人材、すなわち「人の国際化」なのです。

こうした中、国際社会でビジネスパーソンとして活躍できるグローバル人材を育成するため、2016年（平成28年、52年ぶりに新設されたのが「国際社会科学部」です。「英語と専門科目（社会科学）を同時に学習するカリキュラム」と「4週間以上の海外留学」を2つの柱に、4年間を通して国際人に必要な基礎体力を培います。

学習の流れとしては、まず1年生で英語科目の学習と同時に日本語で専門科目を修得。2年生からは専門科目を少しずつ英語で学び、3年生ではすべて英語で学びます。国際社会とはどのような仕組みで動いているかを、法学・経済学・経営学・地域研究・社会学の5分野から総合的に理解するとともに、海外研修や少人数制の演習に取り組み中で、国際

英語と専門科目(社会科学)を同時に学習するカリキュラム——国際社会科学部

	1 英語科目で英語力を高めつつ、専門科目は日本語で基礎を学ぶ 1年生	2 英語科目ではCLIL(クリル)の手法で学ぶ 専門科目も段階的に英語で学ぶ 2年生	3 英語で専門科目を学び、演習で課題解決力を育む 3年生	4 集大成として卒業論文を書き上げる 4年生
英語科目	4技能(読む・書く・話す・聞く)を高める English Communication Academic Skills Presentation	社会科学の内容を関連させて運用力を高める Economics in the World (ブリッジ科目A) Issues in the World (ブリッジ科目B) Globalization and Business Social Diversity	継続的に運用力を高める 英語論文に活用できる技法を学ぶ Group Project Business Communication Critical Reading	Oral Fluency Area Studies Independent Studies
専門科目(講義)	日本語で社会科学を学ぶ 社会学 マクロ経済学 中国経済論 ミクロ経済学 アジア経済論 会計学 国際開発論 マーケティング 社会科学のためのデータ分析	少しずつやさしい英語で学ぶ International Economics (A) Sustainable Development (B) 地域研究の手法 Law and Economics 世界の貧困問題 Modern Chinese Economy アフリカ経済論 Economic Development	高度な英語で学ぶ(全て英語での講義) International Migration Case Study Methods International Business Asian Business Law International Human Resource Management Politics and Economy in Southeast Asia Education and Economic Development in Africa	
海外研修科目	留学前の準備 海外研修I	4週間以上の海外留学	留学後のキャリア形成 海外研修II	
演習(専門科目)	分析手法を学ぶ 入門演習		課題解決策を考え議論する 専門演習	卒業論文の発表 卒業論文・卒業演習

*CLIL(クリル)・・・Content and Language Integrated Learning の略。英語の授業で、専門科目の知識を使って学ぶ手法。
*ブリッジ科目・・・英語での専門科目につなげる英語科目のこと。AとBがそれぞれ対応している科目の例。

(1) オープンキャンパス

令和元年(2019年)開催
【予約不要・入退場自由】
8月2日(金)・3日(土) 10:00~16:00
10月26日(土) 13:30~17:00

入試対策講座特化編
8月17日(土) 11:00~18:15*
学部説明会特化編
11月3日(日) 10:00~16:20*
※規模を縮小して実施予定

【特典】
アンケート回答者に学習院グッズプレゼント

【主なプログラム】

- ・全学部・全学科の模擬講義、説明会
 - ・予備校講師による入試対策講座
 - ・在学生が案内するキャンパスツアー
 - ・全学科の教員と在学生による個別相談コーナー
 - ・在学生が本音を語る学生トークショー
- ※日程により内容が異なります。

(2) 全学部で一般入試の受験機会が2回に!

従来の試験日「コア試験」に加えて、他学部のコア試験日に実施する「プラス試験」を設け、全学部とも受験機会を2回に設定している。

■「プラス試験」のメリット

【法学部・経済学部・理学部】

上記3学部は、コア試験とほぼ同じ科目でプラス試験を受験することができる。理学部数学科のプラス試験は「理科」の試験を実施せず、「数学」・「英語」の2科目受験が可能。

【文学部(心理学科・教育学科)】

プラス試験は、「数学」「英語」「理科」の3科目。理系科目の勉強してきた人にチャンスが開かれる。なお、哲学科、史学科、日本語日本文学科、英語英米文化学科、ドイツ語圏文化学科、フランス語圏文化学科はプラス試験を実施しない。

【国際社会科学部】

所定の英語資格・検定試験(4技能)の成績を提出することで、国際社会科学部のプラス試験が受験可能になる。英語外部試験の成績を「英語」の得点に換算するため、「英語」は受験不要。筆記試験は、「国語」「地歴・公民・数学」の2科目となる。

※詳しい入試情報については、大学ホームページをご確認ください。



社会の現場で役立つ課題発見・解決力を育てていきます。

また、外国籍の教員や、外国での教育研究歴がある、または外国の大学で学位を取得した日本人教員の割合は94・4%にも達し、世界の現場を知り尽くした教員陣による、世界を自指す上でこの上ない学びの環境が整っています。

英語力、知識、柔軟性、そして熱意。世界でリーダーシップを発揮することは、人間力そのものが試されることでもあります。国際社会科学部では、生きた国際社会の空気を肌で感じ取ること、世界中の人々と対等に渡り合い、国際的なビジネスの第一線で活躍できる人材の育成を自指しています。

「総合基礎科目」や「f-Campus」で学部や大学を横断して学ぶ

学習院大学では、学生の学習意欲に柔軟に対応するため、「総合基礎

科目」の中に他学部・他学科の科目も学習できる「基礎教養科目」を導入しています。

ジャンルは「哲学・思想」「文学と芸術文化」「社会科学の基礎」「歴史と地域文化」「自然科学の基礎」「心と身体」「現代の課題」「ペーシック・スキル」「自校史」からなり、外国語科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目も充実。専門の枠にとらわれず、幅広い教養を身につけます。

究極の就職支援プログラム「メンター」

「就職に強い大学」としても定評があり、内定率は98・7%(2019

年3月時点。そこには、「キャリアセンター」が一人ひとりの学生と向き合い独自に展開する、きめ細かいサポート体制があります。就職支援プログラム数は、年間を通して100以上のほりです。

なかでも特筆すべきは、「メンター」こと「面接対策セミナー」。29年の歴史を持つ伝統行事で、総勢500名を超えるOB・OG講師と内定が決まった4年生サポーターが、就活を目前に控えた約1400名の学生に、面接のノウハウから面接を勝ち抜く心構えまでを2日間にわたって伝授します。「すべては学生のために」から誕生し、脈々と受け継がれてきた学習院大学ならではの取り組みが、学生の就職活動を確かなものにしていくのです。